

世界に伍する脱炭素イノベーションを京都から

～脱炭素インターナショナル・カンファレンス「ZET New Japan Summit 2023 Kyoto」開催～

■京都府では、産業創造リーディングゾーン「ZET-valley」の実現に向け、世界各国の脱炭素関連スタートアップ企業・事業会社・研究者、政府機関・公共交通機関等が一堂に集う国際会議を3月2日、3日に向日市で開催しますので、事前の周知と当日の取材についてよろしくお願ひします。

1 開催概要

【名称】 ZET (Zero Emission Technology) New Japan Summit 2023 Kyoto

【日程】 令和5年3月2日(木)、3日(金) 各日9:30～18:30

【場所】 ながもりしげのぶし じんかいかん 永守重信市民会館 (向日市寺戸町中野 20 番地)

【対象】 国内外のスタートアップ企業、事業会社、研究者、自治体、一般住民等

2 目的・内容 (詳細は別添チラシ参照)

国内外の脱炭素テクノロジー (ZET) 関係者が一堂に集い、EV・バッテリー・バイオものづくりなど京都産業が世界的競争力を有する分野を中心に、協業・社会実装など共創への起爆剤として開催。西脇知事のキックオフ (開会挨拶)、各分野トップの企業・研究者らによる講演や対談、スタートアップ企業 40 社によるピッチなどを実施。

<特徴>○脱炭素テクノロジー関連国内外のスタートアップ企業・研究者と、脱炭素のまちづくりを目指す政府関係者等が一堂に会し、多発的なビジネスマッチングを誘発。

○スタートアップメディア「テックブリッツTECHBLITZ」を介したフォローアップマッチングを通じて、参加者の継続的なコミュニティ形成を促進。

○別途通年開催中の「協業のための研究会」「社会実装のための勉強会」への参画等を通じ、共創プロジェクトの実現を資金支援も含め後押し。

3 参加方法 (参加無料)

- ・会場参加 (定員 400 名程度) 又はオンライン参加
 - ・ホームページ「ZET New Japan Summit 2023 Kyoto」より3月1日(水)までにお申込みください。(2月3日時点で申込可能となっています)
- (URL) <https://techblitz.com/zet-newjapansummit2023/>



4 主催・共催

主催：京都府、TECHBLITZ (イシン株式会社) 共催：向日市、JR 西日本

【本報道発表に関するお問合せ】

商工労働観光部ものづくり振興課 課長 足利 TEL 075-414-4846
参事 安達 TEL 075-414-5100



ZET New Japan Summit 2023 Kyoto

2023.3.2Thu-3.3Fri

向日市永守重信市民会館(オンライン同時配信でのハイブリッド開催)

京都府では、カーボンニュートラル実現のため、エネルギー調達だけでなく原材料調達から消費行動に至るサプライチェーン全体を変革し、地産地消型社会への転換を進めていく「ZET-valley(Zero Emission Technology-valley)」を推進しています。

EV・バッテリー・バイオものづくりなど京都産業が世界的競争力を有する分野を中心に、国内外のスタートアップ企業・事業会社にも参画いただき、革新的な「ゼロカーボンものづくり」技術を創出するとともに、地方自治体や公共交通機関等と共に「ゼロカーボンまちづくり」の実装に繋げていく取組です。

今回、協業・社会実装など共創への起爆剤として、世界各国の脱炭素関連スタートアップ企業・協業企業・研究者、政府機関・公共交通機関等が一堂に集う脱炭素インターナショナル・カンファレンスを開催します。ふるってご参加ください。

- 脱炭素テクノロジー関連国内外のスタートアップ企業・研究者と、脱炭素のまちづくりを目指す政府関係者等が一堂に会し、多発的なビジネスマッチングを誘発します！
- スタートアップメディア「TECHBLITZ」を介したフォローマッチングを通じて、参加者の継続的なコミュニティ形成を促進します！
- 別途通年開催の「協業のための研究会」「社会実装のための勉強会」への参画等を通じて、『共創プロジェクト』の実現を資金支援も含めて後押しします！

共創プロジェクト事例

地元大学、大企業、自治体等による連携
内閣府 第5回イノベーション大賞受賞

ゼロカーボンバイオ産業創出による資源循環共創拠点



核融合スタートアップが実証協力

マイクロ波を活用した竹林高速炭化による炭素固定プロジェクト



チップ化竹と炭化された竹

向日市の竹林での竹採取の様子

夢の技術「核融合」によるエネルギー活用の研究開発の一環として、マイクロ波により、CO₂排出源となる放置竹林材(向日市内より提供)によってCO₂高速固定化(ガスに比べて1/8)を推進する取組

eVTOL・AIによる電池材料探索等、新たな共創プロジェクトを組成中

主催：京都府、TECBLITZ(イシン株式会社)

共催：向日市、西日本旅客鉄道株式会社(向日市などJR京都線沿線には、EV・バッテリー・バイオものづくり関連企業・研究機関が集積しています)

後援：スタンフォード大学アジア・米国技術経営研究センター

参加方法：参加料無料、WEBより参加申込

<https://techblitz.com/zet-newjapansummit2023/>



9:30
【オープニング】
【挨拶】
京都府知事 西脇 隆俊
向日市長 安田 守
西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 長谷川 一明



小関 敏彦 氏

最先端の生産技術や
産学の連携した共同
研究等を通じたEVや
ロボット等のモーター
開発動向について

9:45
【基調講演】
グリーンモビリティ社会の実現に向けたEV技術の挑戦(仮題)
京都先端科学大学 副学長 (東京大学名誉教授)
日本電産株式会社 専務執行役員CTO 小関 敏彦 氏

10:15
【基調講演】
脱炭素経済における価値創造とイノベーション 世界潮流と求められる日本の経済・社会変革
スタンフォード大学アジア・米国技術経営研究センター 所長 特任教授 Richard Dasher 氏

10:55
【基調講演】
企業トップが語るイノベーション 持続的成長をもたらす経営
株式会社SCREEN ホールディングス 代表取締役会長 垣内 永次 氏

11:25
【対談】
Honda「脱エンジン宣言」の覚悟 オープンイノベーション活用した脱炭素への挑戦
Honda Innovations, Inc. CEO 杉本 直樹 氏 (対談: Richard Dasher 氏)

12:00
【講演】
日本におけるカーボンニュートラル政策
環境省大臣官房地域脱炭素政策調整担当参事官 木野 修宏 氏



Richard Dasher 氏

13:30
【講演】
欧州の事例から考える脱炭素社会実現における産官学連携の必要性
広島大学デジタルものづくり教育研究センターセンター長 林 隆一 氏

14:00
【対談】
産学公で挑む技術革新 ゼロカーボンバイオ産業創出による資源循環共創拠点の実現に向けて
京都大学大学院工学研究科 材料化学専攻 教授 沼田 圭司 氏
株式会社島津製作所 基盤技術研究所 新事業開発室 室長 高橋 雅俊 氏
Symbiobe株式会社 代表取締役 後 圭介 氏
京都府商工労働観光部ものづくり振興課 課長 足利 健淳 氏 (対談: 林 隆一 氏)

日本が再びイノベ
ターとなるための本質
について

14:50
【対談】
可燃ゴミで脱炭素 スタートアップ×自治体との協業で実現する資源循環
積水バイオリファイナリー株式会社 取締役経営企画部長 加納 正史 氏
積水化学工業株式会社 新事業開発部 吉田 圭佑 氏 (対談: Richard Dasher 氏)

15:25
【対談】
EV・再エネ普及の要 蓄電池の未来とGSユアサの挑戦
株式会社ジーエス・ユアサコーポレーション
取締役 経営戦略室長 野瀬 圭一 氏 (対談: Richard Dasher 氏)



垣内 永次 氏

激化する半導体の世界競争の中、イノ
ベーションを生み続
けるために何をすべ
きかについて

16:00
【講演】
eVTOL(電動垂直離着陸機)の安全飛行を実現する高精度流体シミュレーション
京都工芸繊維大学機械工学系エネルギー変換輸送工学研究室 教授 山川 勝史 氏

16:40
【講演】
スウェーデン発『常識』を覆すグリーン電池企業 ノースポルトの戦略
Northvolt Japan KK 代表取締役 阿武 保郎 氏

17:10
【講演】
【講演】ミラノ万博から始まるゼロカーボンまちづくりとイノベーションの創出(調整中)
Arexpo.s.p.a 代表 Alberto Mina 氏

17:30
【対談】
配船計画を最適化 脱炭素実現に向けた日本郵船のAI活用
日本郵船株式会社 執行役員 技術本部 DX推進グループ・イノベーション推進
グループ担当 鈴木 英樹 氏 (対談: Richard Dasher 氏)

18:00
閉会挨拶

18:30
交流会(HANAむこう:向日市役所5F) 登壇者や大企業等とスタートアップ企業との交流を促進

3月2日
(木)

9:35
【基調講演】
シリコンバレーにおけるEVシフトと技術イノベーション
カーネギー国際平和財団 シニアフェロー 榎田 健二 氏



10:20
【ピッチ】
米国スタートアップ、東南アジアスタートアップ
国内スタートアップ



13:50
【講演】
世界の脱炭素スタートアップトレンドと大企業との協業に向けて
DNXベンチャーズ



阿武 保郎 氏
スウェーデン発のグ
リーンリチウムイ
オン電池を生産するユ
ニコーン企業の取り
組みについて

14:20
【ピッチ】
国内スタートアップ



榎田 健二 氏
シリコンバレーの
スタートアップエコシ
テムの今について

16:10
【対談】
【CVCトップ対談】スタートアップ協業で目指すカーボンニュートラル
ソニー×オムロンの新規事業とCVC戦略
ソニーベンチャーズ株式会社 代表取締役社長 土川 元 氏
オムロンベンチャーズ株式会社 代表取締役社長 井上 智子 氏

16:45
【ピッチ】
欧州スタートアップ
国内スタートアップ

注目の登壇スタートアップ



EV用ワイヤレス充電システム

18:25
閉会挨拶



リチウムイオン電池の
10倍の寿命を持つ、植
物由来の炭素電池



EV向けリチウムイオンバッテ
リーの管理ソフトウェア

18:30
閉会

3月3日
(金)

